



南 港



男鹿市立船川第一小学校

学校報No.2 令和8年6月1日

未来をひらく くじらっこ

～やさしく かしく たくましく～

文責 校長 清水 琢

熱くなれ！ はじける笑顔 くじらっこ！ 「開会式」

素晴らしい五月晴れとなった16日、応援に来てくださった方々の温かい励ましの中、運動会を行うことができました。皆さんの皆様からのご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

運動会当日はもちろん、それまでの練習や準備でも、6年生が学校のリーダーとして後輩たちを引っ張り、支えている姿がとても光っていました。6年生の皆さん、ありがとうございます。皆さんが見せてくれた姿は、くじらっこの伝統として5年生はもちろん、後輩たちに受け継がれていくことでしょう。

この運動会を通して、一人でも多くのくじらっこたちが、走ったり体を動かしたりする楽しさや、仲間を応援するために全力で声を出す喜びを感じてくれたらと願っています。「未来をひらく くじらっこ」たちの名場面を、これからたくさん見ることができたらとても幸せです！



1年「玉入れ」



2年「おどる☆くじらっこ」



3年「運命！」



4年「ぐるぐるハリケーン」



5年「障害物競走」



6年「走れ!楽しく!仲良し親子」



「全校綱引き」



「全校色別選手リレー」



「閉会式」

今年度の学校運営協議会委員、PTA役員の方々を紹介します。

【令和8年度学校運営協議会】敬称略		
役職	名前	所属等
会長	奥山 祖道	保護者代表
副会長	松橋 明子	地域代表
副会長	近藤 勝郎	地域代表
委員長	伊藤 晴樹	地域コーディネーター
委員長	三浦 辰也	同窓会代表
委員長	坂本 秀岳	地域代表
委員長	近藤 栄子	地域代表
委員長	三浦 賢翁	地域代表
委員長	湊 留美子	船川港公民館長
委員長	小澤田 一志	男鹿中コミュニティセンター長
委員長	鎌田 重美	椿コミュニティセンター長
委員長	清水 信裕	北浦コミュニティセンター長
委員長	佐藤 秀樹	戸賀コミュニティセンター長
委員長	山本美樹子	保護者代表

5月7日（木）今年度初の学校運営協議会を行いました。委員の皆様には、本校経営方針をご承認いただいた後、船川地区のお宝である「ひと、もの、こと」に関する貴重な情報をたくさんいただきました。

【令和8年度PTA役員】敬称略		
役職	名前	所属
会長	〇〇 〇〇 (5年〇〇)	総務 教育広報 保健体育 校外生活指導
副会長	〇 〇〇 (6年〇〇)	
副会長	〇〇 〇〇 (4年〇〇)	
副会長	〇〇 〇〇 (5年〇〇)	
副会長	〇〇〇〇 (6年〇〇)	総務 教育広報 保健体育 校外生活指導
専門部長	〇〇 〇〇 (3年〇〇)	
専門部長	〇〇 〇〇 (6年〇〇)	
専門部長	〇〇 〇〇 (4年〇〇)	
専門部長	〇〇〇〇 (5年〇〇)	
会計監査	〇〇〇〇 (3年〇〇)	
会計監査	〇〇〇〇 (3年〇〇)	

4月24日（金）、PTA 授業参観、総会、学級懇談、専門部会、常任委員会を行いました。今年度の役員をお引き受けくださった皆様、ご難儀をお掛けして大変恐縮です。当日は、授業参観や総会、懇談会にもたくさんの皆様よりご出席をいただきました。子どもたちの幸せな成長に向け、本校教育活動へのご協力とご支援を、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



全校でお迎えした「1年生おめでとう集会」
4月30日の集会では、新たなじらっこたちの仲間入りを全校歓迎しました。1年生は立派に己紹介して先輩たちから温かい手をもりました。6年生は企運営全般を、5年生も〇×ゲームで大いに盛り上げてくれました。



スクールバスが玄関前まで来ています
5月1日から、学校の玄関前までスクールバスが上って来られるようになりました。早めに登校できるようになり朝の時間に余裕ができました。朝勉強するもよし、遊ぶのもよし。悩み所ですね。
また現在、クマ対策として保護者送迎もお願いしております。安全へのご配慮をお願いいたします。



船川こども園からの強力な応援団です
5月12日、船川こども園の5歳児と6歳児が、運動会の予行練習を応援しに来てくれました。
くじらっこの仲間入りをしたばかりの1年生も、後輩たちにいいところを見せようと張り切っていました。
来年度は、いよいよくじらっこの仲間入りです。皆さんの入学を楽しみに待っていますよ。



「学校の周り調べ」、「めざせ！なまはげ博士」 ～3年生～

3年生が、船川地区や男鹿市を調べています。自分の目で見付けたこと、感じたことをもとに、この後、ふるさとについての学びを進めていきます。本校の広い学区には、ふるさとを通して学ぶためのたくさんのお宝があります。地域の宝である「人、もの、こと」で、未来への宝であるくじらっこたちを磨いていく。〇十年後に、ふるさとを担っている姿が楽しみです。